

3. 自記式流向流速計 (ベルゲンモデル 4)

彦 坂 繁 雄 (三洋水路測量株式会社)

製作会社	ノルウェー・アイバーアーンデラー社
測定項目	流向および流速 (オプション、水温、電気伝導度、水圧)
測定方法	流速、ロータータイプでローターの回転をマグネットでカウントする。測定範囲、 1.5 cm/秒 ~ 2.5 m/秒、精度、 ± 1 cm/秒および $\pm 5^\circ$ (流向)。 水温、サーミスター、精度、 $\pm 0.1^\circ\text{C}$ 、レンジ、 $-2.46 \sim 21.40^\circ\text{C}$ 、 $10.08 \sim 36.00^\circ\text{C}$ 、 $-0.34 \sim 32.17^\circ\text{C}$ 。 深度、ブルドン管、測定範囲、2000 m 又は 5000 m (オプション) 電気伝導度、電磁誘導型センサー。
記録方法	二進数値にて、1/4 インチ、600 フィートのマグネットテープ (内蔵) に記録、 このほかに発信器もついていて、ハイドロフォン・レシーバーで作動確認できる (800 m まで可)。
データ取得	水晶時計によるサンプリング、サンプリング間隔、30 秒、1、2、2.5、10 (標準)、 15、20、30、60 分 精度、 ± 2 秒/日、1 年間の連続観測が可能。
電 源	9 V の角型バッテリー 1 ケ
重 量	本体 1.3 Kg、ベーン 1.2 Kg 水中重量 1.8 Kg

1974年7月、東京湾で15日間の観測を行なった。また併せて小野式流向流速計との比較試験を行なった。ベンゲルモデル4はサンプリング間隔5分、小野式20分である。結果は、ベンゲルモデル4の流速がやや大きく出る傾向、とくに流れが大きい時から小さくなる時に大きく記録される傾向があり、流向に関しても必ずしもよく一致するとは限らないので、今後もっとこの種の比較検討の必要があろう。塩分、水温については未だ未整理である。(コンビーナー記)

4. 多要素海象データ記録装置

鈴 木 重 教 (株式会社鶴見精機)

I. 多要素海象データ記録装置

1. 概 要

多要素海象データ記録装置は海中の流向、流速、塩分、水温を長期間にわたり自動的に測定記録